



日南市【宮崎県】 歴史文化基本構想

■ 策定年月：平成23年3月 ■ 人口：51,959人 ■ 面積：536km²
■ 担当課：日南市教育委員会生涯学習課（平成30年3月現在）



一市二町の合併で誕生した日南市では市民の一体感を醸成していくことが大きな課題であったため、合併前の各地域を特徴づける文化遺産のまとまりを8つの関連文化財群として捉え、7つの歴史文化活用保存区域を設定した。自分の住む土地に誇りを持った市民がそれぞれの地域で魅力あるまちづくりに取り組むための理論的支柱となり、市民一丸となって文化遺産の保存・活用が図られるよう、本構想を策定した。

5 歴史文化を表す つのキーワード

城下町と港町、信仰と神話、文化的景観、
交通関連文化財、中世城郭

課題

- ・ 伝統的建造物の空き家対策
- ・ 歴史的景観価値の再評価
- ・ 各集落に伝わる年中行事等の維持
- ・ 農林漁業等伝統技術の保存と継承

保存活用方針

- ・ 文化財の調査と指定、修理等補助
- ・ 人材育成と組織づくり、地域連携
- ・ サイン整備と情報発信
- ・ 地域の伝統産業育成

保存活用のための取り組み

重要伝統的建造物群保存地区 飫肥における修理・修景

伝統的建造物群保存地区内の建築物や工作物等について歴史的風致を維持するため、国庫補助による修理・修景事業を行っている。伝統的建造物は主としてその外観を維持するための修理を行い、石垣・板塀等破損の甚だしいものは築造当時の形式手法で修理、ブロック塀等は石垣等に修景する。



歴史文化基本構想を活用した観 光拠点づくり事業

平成30年3月10日～18日の9日間、伝建地区選定40周年を記念したイベント「DENKEN WEEK」を開催した。飫肥伝建地区の建造物等を活用したプロジェクションマッピングや映画上映、ガストロノミー&マルシェ、アート展等を開催し、9日間で観光客約12,000人を集客した。



歩き・み・ふれる歴史の道「飫 肥街道」ウォーキング

飫肥城下と飫肥藩領清武郷を結ぶ山仮屋関所跡付近の旧街道約4kmをゆっくりと散策する。平成14年度から年1回のペースで実施している。小規模イベントであるが、毎年継続実施することで歴史の道の周知と保存・活用の推進を図っている。

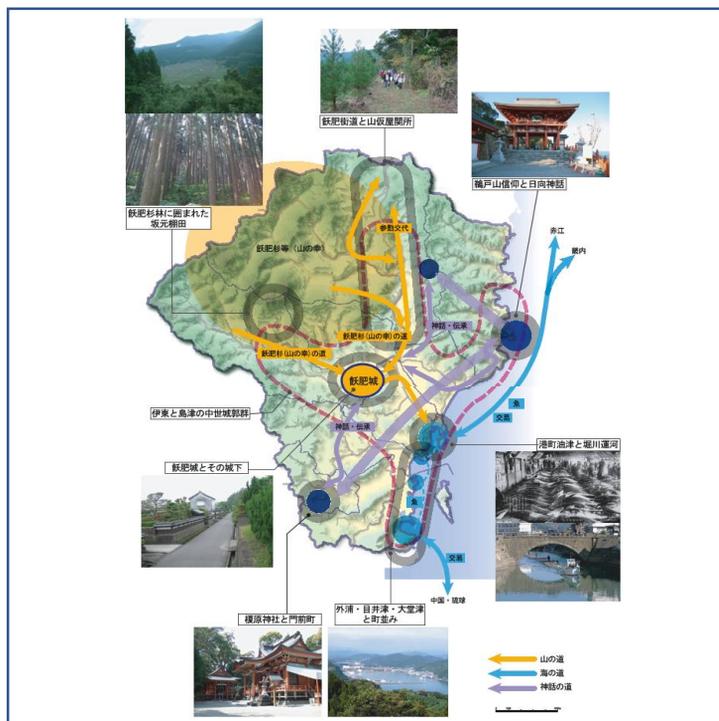


生涯学習講座「わかすぎ号で地 域発見講座」

市のマイクロバス（わかすぎ号）で、市内各地域を廻り、ふだんはあまり知られることのないその土地の魅力を感じ取る講座を年に6回程度実施している。毎年市内各地域からの受講希望者が多い。



関連文化財群



本市歴史文化基本構想においては、次の各条件に適合する文化遺産のまとまりを関連文化財群として設定している。

- ・ストーリー性があること（群として把握することにより価値が明確になること）
- ・歴史的に共通項があること
- ・地域の歴史や文化、伝統をよく表していること
- ・地区住民が誇りに思うこと

ストーリー

- ① 飢肥城とその城下
- ② 飢肥杉林に囲まれた坂元棚田
- ③ 港町油津と堀川運河
- ④ 鶴戸山信仰と日向神話
- ⑤ 榎原神社と門前町
- ⑥ 外浦・目井津・大堂津と町並み
- ⑦ 飢肥街道と山仮屋関所
- ⑧ 伊東と島津の中世城郭群

策定後の成果（見込まれる効果）

① 坂元棚田の重要文化的景観選定
平成25年10月17日に「酒谷の坂元棚田及び農山村景観」が、宮崎県内では初めて重要文化的景観に選定された。坂元棚田保存会では、宮崎大学農学部と連携し、棚田米の品質向上を目指した研究への協力を続けている。また、棚田オーナー制度による地域外交流を長年続け、棚田景観の保存に努めている。平成29年11月には、第1回美しい宮崎づくり大賞を受賞した。



② 歴史的風致維持向上計画の認定
日南市では、平成22年度に策定した「日南市歴史文化基本構想」を元に「日南市歴史的風致維持向上計画」を策定し、平成25年11月22日に国の認定を受けた。認定後の平成27年度に電線地中化事業を終え、現在は景観計画に基づく民家修景事業や伝建地区の修理修景事業等に取り組んでいる。歴史文化基本構想の策定が、歴史的風致維持向上計画認定の礎となった。



③ 県内戦後初 鶴戸の名勝指定
平成29年10月13日、鶴戸神宮を含む鶴戸崎一体が、「鶴戸」の名称で国の名勝に指定された。宮崎県内では5件目、戦後では初めてとなる。鶴戸神宮は年間100万人が訪れる市内随一の観光名所で、日向神話の舞台としても知られる。波食棚や隆起海蝕洞などの周囲の特徴的な地形・地質と古くからの信仰が結びついた風致景観の観賞上の価値が高く評価された。

